

手でみるプロジェクト2022 オンラインレクチャー

「解剖学からの触覚鑑賞の魅力」

online lecture

講師／宮永美知代 氏(東京藝術大学助教) 日時／10月22日(土) 13:30～15:00
 場所／オンライン(ZOOM)による配信型 対象／一般、学生

オンラインzoomによる配信型

この申込先フォームは**10月15日(土)**まで受付し、
 後日zoomのURLをお送りさせていただきます。



触れることは手で見ることです。講師に宮永美知代先生をお迎えし、
 美術解剖学の専門家からみた触覚鑑賞の意義や魅力について、お話しいたします。
 また、9月に行われる盲学校小学部の子どもたちを対象にしたワークショップ
 「粘土で彫刻～生きている犬と犬の骨格をさわりながら～」
 の実施の様子についても触れていきます。



講師紹介

宮永 美知代 Michiyo Miyanaga

東京藝術大学大学院美術教育(美術解剖学II)研究室助教。
 東京医科歯科大学歯学部、女子美術大学非常勤講師。
 美術解剖学会、日本顔学会理事、博士(医学)。
 東京国立博物館、東京医科大学客員研究員。
 兵庫県神戸市生まれ。
 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程(美術解剖学専攻)修了。
 同大学院博士後期課程(芸術学専攻)中退。
 その後、東京大学理学部人類学教室研究生。
 武蔵野美術大学、東京医科歯科大学、女子美術大学、
 沖縄県立芸術大学などで非常勤講師を務める。

著書 『動物デッサンの基本とコツ』(ソーテック社)、『美女の骨格』(青春出版社)、
 『美術解剖学アトラス』、『生体機能論』(南山堂) など
 翻訳監修書 『アーティストのための美術解剖学』、『モーションを描くための美術解剖学』(マル社) など

関連企画のお知らせ

「ふれてみる展覧会」

2021年10月21日(金)～23日(日) 10:00～17:00 ※初日21日13:00～、最終日23日16:00まで
 山梨県立図書館交流ルーム101・102

日本と台湾の若手作家の彫刻や、日本とイタリアのふれる絵本などを展示します。
 すべての作品を手でふれて鑑賞いただけますが、
 感染症の状況に応じて、希望者には手袋を配布いたします。

関連イベント詳細 <http://art-edu.sub.jp/01/>



HPから概要をご覧ください

「手でみるプロジェクト」事務局

公立大学法人 山梨県立大学 古屋祥子 E-mail s-furuya@yamanashi-ken.ac.jp
 国立大学法人 山梨大学 武末裕子 E-mail htakesue@yamanashi.ac.jp